

令和6年12月三田市議会定例会(第379回)一般質問発言通告一覧

(第2日・12月11日 個人質問)

6番 山崎 文 <一問一答>

- 1 教育環境の整備について
 - (1) 小学校の特別教室(家庭科室)の空調設置。
 - (2) 「子どものサポーター」の配置。
 - (3) 部活動の地域移行。
- 2 公共交通について
 - (1) 自動運転中型バスのスムーズな運行に向けた環境づくり。
 - (2) バス停留所の乗り降り場所の低木除去。
 - (3) 高齢者運賃助成事業(神戸電鉄のICカード化)。
- 3 フラワータウン再生について
 - (1) 「フラワータウンセンター」バスターミナルの拡張。
 - (2) 「むこぐるぐる(グリーンスローモビリティ)」の運用拡大。
 - (3) 人口循環を誘発する住み替えシステムの構築。

7番 村手 秀樹 <一問一答>

- 1 地域防災訓練への中学校の協力について
 - (1) 中学校での地域防災訓練及び避難所訓練の是非と必要性について。
 - (2) 三田市地域防災計画資料編に記載の「学校での避難受入人数ケース2の教室等」における教室の特定について。
 - (3) 地域防災訓練への生徒及び教職員の参加の必要性について。
 - (4) 地域防災訓練での学校使用に際しての目的外使用申請の必要性について。
- 2 三田市の観光事業推進について
 - (1) 観光拠点となる道の駅の創設について。
 - (2) 地ビール「(仮)SANDAビール」の開発について。
 - (3) 体験型観光(農作業、古民家生活、アウトドア体験、和太鼓体験、乗馬体験等)への取組強化について。
 - (4) インバウンド取り込みのSNS発信強化等について。
- 3 都市計画道路「第二テクノ線」の早期整備について
 - (1) 都市計画道路で未整備の「第二テクノ線」整備の現状と見通しについて。

9番 水元 サユミ <一問一答>

- 1 失語症者への支援事業について
 - (1) 市は、今年7月「失語症者向け意思疎通支援者派遣事業」を開始した。これまでの失語症に関する周知啓発と利用実績について伺う。
 - (2) 日常生活以外にも意思疎通支援者の派遣を可能とすべきと考えるが市の見解を伺う。
 - (3) 失語症者支援先進市として、意思疎通支援者養成講座を市内で開催し、失語症に特化した相談

窓口や支援センター設置等の取り組みを進めてはどうか。

2 介護保険制度について

- (1) 今年度の介護報酬改定による事業者への影響の現状把握と是正について。
- (2) 地域によっては介護保険制度の利用が難しいと聞く。地域間格差の是正が必要と考えるが市の対策について伺う。

3 難聴者への支援と対応について

- (1) 若者のヘッドホン・イヤホン難聴が増えているが市の見解と啓発について伺う。
- (2) 難聴は、危険察知能力低下や生活の質低下、認知症リスクを高める。人権という観点からも加齢性難聴者への補聴器購入に対する助成制度創設が必要と考えるが市の見解を伺う。
- (3) 市の窓口で軟骨伝導イヤホンを設置してはどうか。

10番 木村 雅人 <一問一答>

1 部活動の地域移行について

- (1) これまでの部活動の意義、今後の地域移行したあとの地域クラブの意義について、見解を伺う。
- (2) 令和8年度中にすべての部活動の移行はスケジュール的にタイトすぎるのではないかと。保護者からの声や地域クラブ設立の実情に合わせ、期限の延長が必要だと考えるが見解を伺う。
- (3) 過度な保護者負担とならないよう対策が必要と考えるが、市としてどのように考えているか、見解を伺う。
- (4) 国のガイドラインにある「体験格差を解消することを目指すもの」でなく、経済的な「個人間の格差」、距離的な「地域間の格差」を今以上に生じさせる可能性があることについて、見解を伺う。
- (5) 中学校の再編について、少人数によって部活動ができないことが当初は大きな理由の一つとしていたが、前提が大きく変化したことについて、見解を伺う。

2 有機フッ素化合物（PFAS）の汚染問題について

- (1) この間の三田市の取り組みと調査結果に対する今後の対応について、見解を伺う。
- (2) 正しく情報を知ることが大事であり、そのための市民への情報提供について、見解を伺う。
- (3) 国に対して、PFAS対策の予算措置、国際水準に見合ったPFAS規制、今後の具体的な対応方針を求めると考えるが、見解を伺う。

3 会計年度任用職員の処遇改善について

- (1) 総務省のマニュアルから「3年目公募」が削除されたことにより、3年を超える連続任用は可能であるという認識でいいか、見解を伺う。
- (2) 速やかに対応を切り替えて雇用の安定化を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

13番 中田 哲 <一問一答>

1 部活動の地域移行について

- (1) 関係者との信頼関係構築の重要性について。
- (2) ガイドラインや認定要件について。
- (3) 経済的支援、公共施設利用上の支援について。
- (4) 地域活動やボランティア活動との連携、市の事業との連携について。

2 不登校支援について

- (1) フリースクール等の利用費助成制度について。

- (2) 校内サポートルームにおける支援の充実について。
- (3) 保護者の会や支援団体との連携について。
- 3 フラワータウンの課題について
 - (1) 適切な情報開示と各関係団体、事業者との連携について。
 - (2) フローラ88営業終了による影響と対策について。
- 4 システムの標準化について
 - (1) システム標準化の効果と課題について。

19番 佐貫 尚子 <一問一答>

- 1 市の終活支援の現状と今後の方向性について。
 - (1) 終活に対する認識を高め、市民自身が終活に取り組みやすくするための普及活動について伺う。
 - (2) 終活に関する悩みや不安を解消する為に専門窓口や終活情報登録制度を進める自治体があるが、市の終活支援体制の方向性について伺う。
- 2 市の窓口業務に軟骨伝導イヤホンの導入について。
 - (1) 市の窓口業務において耳が聞こえにくい高齢者や、難聴の方には適切な支援が不可欠と考えるが、現状の窓口対応について伺う。
 - (2) 軟骨伝導イヤホンの活用は、窓口での市民のプライバシー保護と対話がスムーズに行えることから業務も効率的となるが、新たな選択肢として導入の考えがあるか。
- 3 都市公園の指定管理者が行う業務について。
 - (1) 公園の指定管理者が担う具体的な業務について伺う。
 - (2) 指定管理者と市との施設運営に関する協定事項の共通認識について伺う。
 - (3) 維持管理において安全で目的にあったサービスが必要と考える。今後の課題と改善が必要な点について伺う。

2番 大西 憲司 <一問一答>

- 1 地域再生における空き家に関して
 - (1) 空き家に関する現状と課題について。
 - (2) オールドニュータウンの住み替え、空き家について。
 - (3) 農村(市街化調整区域)地域の空き家について。
- 2 JR周辺のまちづくりに伴う地域の活性化に関して
 - (1) 新三田駅前まちづくりの状況について。
 - (2) 相野駅前、広野駅前まちづくりにおける、商業施設の誘致について。
- 3 出産、子育ての支援に関して
 - (1) 安心して出産できる環境づくりのため、陣痛タクシーの導入を進めてはどうか。
 - (2) 長期休暇中の放課後児童クラブでの昼食の提供を進めてはどうか。
- 4 地域医療に関して
 - (1) 地域における、かかりつけ医の減少について。